

多目的藻礁の開発 II

水産土木工学部

研究の背景・目的

1. 海藻の着生基質、有用生物の生息場、育成場となる多目的な藻礁の開発
2. 緩やかな消波、海岸地形の保全に利用できる施設の開発

研究成果

1. 自然に存在する岩を参考に新型藻礁を開発
2. 千葉県館山湾内の試験礁設置により、クロメ、ホンダワラ類の海藻の着生、イセエビ(稚エビを含む)の生息、イシダイ、イサキ、カンパチ、アナゴの蛸集を確認

波及効果

自然の海底条件を模倣する藻礁の設置が進むことにより、緩やか消波効果で、海岸地形の保全と生物増殖を推進する技術開発に寄与する。



平成20年1月になって、アラメ、クロメ、オオバモクなどが着生し、徐々に藻礁と言えるようになってきた。



イサキ稚魚の群れ

イシダイ、ハタタテダイ

礁内部のイセエビ

(漁場施設研究室・高木儀昌)